

## 放送 地域放送番組編集計画 (2013年度)

原文どおり掲載するが、年表示は西暦にし、記号などは本書の方式に合わせた。

### 北海道

#### 《基本方針》

豊かな自然、新鮮な食材など、国内外の多くの人を引きつけてやまない魅力にあふれる北海道。一方、災害への備え、エネルギー需給問題、TPP（環太平洋パートナーシップ協定）参加の影響、北方領土など多くの課題も抱えています。公共放送NHKは、この地の人々が心豊かで安心して暮らすことができるような情報を発信することが求められています。

NHK北海道は7つの放送局が緊密に連携し、豊かで質の高い地域サービスを行ってきました。2013年度はこの取り組みをさらに進め、道内各地の課題を全道に発信し、北海道一体となって向き合うとともに、地域の魅力的な場所や人を紹介し、7放送局がさらに地域に根ざし、親しまれる放送局となることを目指します。

道民の安全・安心を守るため、緊急報道体制をよりいっそう充実・強化します。テレビ・ラジオのニュース・番組はもちろん、インターネットなど、あらゆる伝送路を駆使して、北海道の防災・減災につながる情報を提供します。そして、北海道が直面するさまざまな課題について、視聴者とともに向き合い、解決策を探っていきます。

また、金曜午後8時には、家族そろって楽しむことができる番組を放送します。さらに、双方向番組や新しい演出に挑戦するなど、幅広い視聴者層に支持されることを目指します。NHKのネットワークを生かし、北海道の魅力国内外に積極的に発信します。

#### 《重点事項》

##### 1. 道民の安全・安心につながる放送・サービスを強化します

地域放送の要である午後6時台の地域情報番組を中心に、道内7放送局の力を結集し、道内各地のニュースの全道発信をさらに強化します。被害想定が大きく見直され、新たな防災対策が急がれている津波をはじめ、大地震や暴風雪、局地的豪雨など道民の生活を脅かす危険から命を守り、安全・安心につながる情報の提供に全力を尽くします。

ラジオ第1に新たな情報番組を編成し、いざという時に役に立つ情報を提供するとともに、災害発生時に必要な生活情報を得るためのネットワークを整備し、“安心ラジオ”としての機能を強化します。

インターネットでの動画ニュースの発信、データ放送での電力・雪道・河川情報などさまざまな生活情報の提供を通してデジタルコンテンツの利便性を最大限に生かした情報発信をさらに強化するとともに、ホームページを防災に重点を置いて発展させ、安全・安心のポータルサイトとしての機能を強化します。

##### 2. 幅広い視聴者の関心に応える放送を充実します

北海道では、エネルギー需給、景気の停滞、北方領土問題などの課題が山積しています。金曜午後7時台に報道番組を編成し、これらの課題に向き合い、未来へのヒントを探ります。さらに随時、大型番組に取り組み、視聴者とともに北海道のこれからを考えます。

金曜午後8時台は、12年度に引き続き“家族で楽しめる時間”と位置付け、好評をいただいている紀行番組や地域密着バラエティーなどを中心に、道民に親しまれる魅力的な番組を編成します。

ソーシャルネットワークサービスを活用した双方向番組や、一流の仕事人の思考を解き明かすドキュメンタリー、アーカイブス映像を活用した新感覚の番組などを斬新な演出で提供し、普段あまりNHKに接触しない視聴者も含めた幅広い層の獲得を目指します。

第23回参議院議員通常選挙（任期満了日・13年7月28日）にあたっては、開票速報など関連放送に万全を期し、視聴者の信頼に応えます。

聴覚障害者や高齢者向けの字幕放送を付与する地域放送番組を拡充し、“人にやさしい”放送の充実に努めます。

##### 3. 放送・サービスを通じて、地域貢献に取り組みます

道内7放送局のネットワークを最大限に生かしながら、道内各地の魅力的な場所・人を積極的に全道に紹介し、北海道に暮らす人たちが、地域の魅力を再発見し、元気になれるようなキャンペーンを展開します。

道内各地の先進的な取り組みや、四季折々の見どころを全国放送や国際放送で積極的に全国・海外に発信し、北海道の産業や観光の活性化などに貢献します。

##### 4. 北海道のスポーツを応援します

3年ぶりのリーグ優勝を果たしたプロ野球「北海道日本ハムファイターズ」に道民の関心はさらに高まっています。ニュースや中継で積極的に伝え、視聴者の期待に応えます。

14年2月開催の冬季ソチオリンピック、ソチパラリンピックにむけて、活躍が期待される北海道ゆかりのウィンタースポーツの選手を紹介し、応援の機運を盛り上げるほか、その活躍をニュースなどで伝えます。

J2の舞台で巻き返しを目指す「コンサドーレ札幌」、バスケットボールやフットサルの地元チームの動向、高校野球や市民スポーツなど、多彩なスポーツの情報をきめ細かく伝えます。

### 東北

#### 《基本方針》

東北の各放送局は、引き続き東日本大震災からの復興を支援することを最優先に掲げ、地域が抱える課題に真正面から向き合います。全国的に震災への関心が薄れていくことが懸念される中で、被災地の現状や人々の思い

を伝えるニュースや番組を発信し続けます。

また、震災から得た多くの教訓を生かし、次なる大災害に備えます。防災・減災につなげる取り組みを、さまざまな手段を講じて行うとともに、災害時には事態を正確に迅速に報道し、きめの細かい生活情報を提供する体制を強化します。

地域の再生に向けて立ちあがる人々を応援し、番組やイベントを通して“活力”と“笑顔”を届けます。東北の魅力を再発見し、ふるさとの素晴らしさを伝える番組や、視聴者とのふれあいを大切にする公開番組の制作に積極的に取り組みます。地域を元気にするスポーツの放送もさらに充実します。

## 《重点事項》

### 1. 被災地の現状を伝え、地域の課題と向き合う

東日本大震災の被災地では、復興計画の遅れや、住宅、雇用の問題など、多くの課題に直面しています。水産業をはじめとする地域経済の再生も進んでいません。また、東京電力福島第一原子力発電所の事故によって、人々の暮らしに深刻な影響が続いています。さらに、東北地方全体が主要産業の衰退や少子高齢化など、さまざまな問題を抱えています。

震災直後から開始した被災者の声を直接伝える番組を継続するとともに、地域の諸課題に真摯に向き合い、解決の道を探るニュースや番組の制作に取り組みます。『NHKスペシャル』をはじめ、全国放送の震災関連番組の制作にも、引き続き積極的に臨みます。

### 2. 地域の安全と安心を支える

東北地方の各放送局は、これまで震災をさまざまな角度から検証し、いかなる災害時にも迅速に対応できる体制を整備してきました。災害が起こったときには、各放送局が視聴者の必要とするきめの細かい生活情報を、テレビとラジオで提供します。データ放送やインターネットなど、さまざまなメディアも活用し、視聴者の利便性を高めます。震災の風化を防ぎ、防災意識の向上に資する番組を継続して発信し、将来の防災・減災につなげます。

### 3. “活力”と“笑顔”を届ける

東北の豊かな文化や伝統を紹介するバラエティー番組や、東北ゆかりの歌手を招いて開催する音楽番組を制作し、視聴者に笑顔を届けます。

東北を舞台にした『大河ドラマ』『八重の桜』や『連続テレビ小説』『あまちゃん』を盛り上げ、地域の活性化に貢献します。

震災をテーマにしたドラマを制作し、被災地に暮らす人たちの思いを伝えるとともに、被災地にエールを送ります。

### 4. スポーツ放送で地域を盛り上げる

プロ野球「東北楽天ゴールデンイーグルス」やサッカーJリーグ、プロバスケットボールbjリーグなど、東北の人々を元気づけるスポーツの放送を充実し、視聴者の期待に応えます。

冬季ソチオリンピック、ソチパラリンピックで活躍が

期待される東北出身の選手の情報を詳しく伝えます。

## 関東甲信越

### 《基本方針》

関東甲信越地方に暮らす人々はおよそ4,800万人。首都圏放送センターと9つの放送局は、人々の生活に寄り添いながら、地域社会が抱える課題に真正面から向き合います。安全・安心を守るための情報提供に全力を注ぎ、地域の発展に貢献する放送を目指します。

東日本大震災から3年目。放射能汚染やエネルギー問題、笹子トンネル崩落事故で明らかになったインフラの老朽化などが注目を集めています。ストーカー殺人やネット犯罪などの事件も相次ぎ、暮らしの安全・安心が改めて問われています。

災害や事件・事故などの緊急報道にいっそう力を入れていきます。首都直下地震など大地震に備え、取材・放送体制をさらに強化していきます。第23回参議院議員通常選挙や東京都議会議員選挙など選挙報道もこれまで以上に充実させます。

2020年オリンピックの東京招致に向けた取り組みの最新情報を積極的に伝えます。また、経済が低迷する中で、急速に進む少子高齢化による社会問題や、TPP（環太平洋パートナーシップ協定）参加問題を含め農林水産業や地場産業など地域の課題にどう向き合うのか、深く掘り下げた調査報道やシリーズ企画などで解決策を探っていきます。

関東甲信越の豊かな自然や伝統文化、人々の営みを取り上げた番組を制作し、地域の魅力を全国に発信していきます。地域向けの情報番組では、地元に着したニュースや生活情報をさらに充実させます。

放送、パソコン、携帯、タブレット端末などさまざまなメディアを連携させて、災害情報から暮らしに役立つ情報まで多彩な情報を迅速に提供し、視聴者への新たなサービスを向上させていきます。

### 《重点事項》

#### 1. 安全・安心を守るために地域の課題に向き合う

東日本大震災から3年目。エネルギー問題や放射能汚染、インフラ老朽化など、震災後にクローズアップされてきた“暮らしの安全をおびやかす問題”をさまざまな角度から切り取り、ニュース・番組を発信します。また、急速に進む少子高齢化による社会問題や現代社会のひずみが生み出す凶悪事件、いじめなど“人々の安心をおびやかす問題”を掘り起こし、調査報道やキャンペーン報道などを展開し、解決方法を考えていきます。

#### 2. 災害や選挙報道の充実

国民の安全・安心を守る公共放送として、正確で迅速な報道に万全を期し、防災・減災の役割を果たします。首都直下地震など大地震の発生に備えて取材・放送体制をさらに強化し、必要な情報を迅速に提供できるようにします。第23回参議院議員通常選挙（任期満了日・13年7月28日）や東京都議会議員選挙（投票日・13年6月23日）などの選挙報道では、争点や地域への影響などを

わかりやすく伝え、開票速報を正確・迅速に放送します。

### 3. 地域活性化を放送で応援

2020年オリンピックの招致を目指す東京都やJOC（日本オリンピック委員会）の取り組みについて、最新情報をニュース番組などで詳しく伝えます。県域放送や関東および関東甲信越地方向けの情報番組で、地域に密着したニュースや身近な話題を豊富に伝え、地域経済や農林水産業の活性化にも貢献します。また、ユニークな人物や食材など地域の魅力を掘り起こす番組を放送し、地域を元気にする応援団の役割を果たします。

### 4. 地域の魅力や活力を全国に発信

紀行番組『小さな旅』では、各地の豊かな自然や文化、暮らしぶりを見つめ、全国に紹介します。13年度から全国放送になる情報番組『ゆうどきネットワーク』では、生活情報、話題のスポット、各地の風物や食文化など、地域の魅力や活力を全国に発信します。

### 5. インターネットなどを活用した視聴者サービスの向上

12年度に開設した首都圏放送センターの安全・安心のポータルサイトに警報・注意報などの気象情報、河川雨量情報などを掲載して防災情報の充実を図ります。また、首都圏放送センターと関東甲信越の各放送局では、ホームページやソーシャルネットワークサービスで展開しているニュースや災害、交通、選挙や番組情報といったコンテンツをスマートフォンでもより見やすくすることで、外出中や移動中の人がいっそう手軽に利用できるようにします。

## 中 部

#### 《基本方針》

地域の公共放送として、地域に寄り添い“今”を見つめ、“未来”を見据えて、役に立ち、親しまれ、信頼される放送局を目指します。

今、私たちは先行きを見通せない不透明な時代を生きています。混とんとした世界経済、近隣諸国との関係、政権交代による影響、東日本大震災からの復興、少子高齢化による社会保障の在り方など、日本は困難な課題に直面しています。

そうした中、中部地方では地域経済の低迷をはじめ、南海トラフを震源とする巨大地震への対策や原子力政策がもたらす地域への影響など、取り組まなければならない課題が山積しています。

中部地方の各放送局は、地域の人々の生命・財産を守る公共放送として“地域のライフライン”としての責務を果たしていきます。また、地域のさまざまな課題に向き合い、地域の人々の視点に立って解決に向けた道筋を多角的に探っていきます。

中部地方には多くの豊かな自然があります。伝統的に高度な“ものづくり”の技術を有し、それらを生かして新たな産業を創出しようとする意欲に満ちています。これら、中部地方の自然環境や産業の動き、そこに根づく

人々の暮らしや文化を、地域そして全国へ発信していきます。

伝達手段の多様化に伴い、放送と通信の連携をさらに進め、双方向性を強化することで視聴者とのつながりを大切にした番組制作を推進するとともに、データ放送では情報性の高いコンテンツを提供し、テレビの利便性を高めていきます。

#### 《重点事項》

##### 1. 緊急報道と防災・減災に役立つ情報の発信に全力を尽くします

災害や事件、事故について正確で迅速な報道に全力を尽くします。発生が懸念される南海トラフ巨大地震などに備え、防災・減災のための情報発信の拡充や、大規模災害発生時のライフライン情報の強化、コミュニティFMなどとの連携による情報提供ネットワークの整備などを行い、地域の安全・安心に向けた機能を強化します。

##### 2. 地域や暮らしの課題を正面から取り上げます

地域の人々の視点に立って、地域や日本の課題に向き合います。地域の景気や雇用の問題、消費税増税のゆくえ、原子力発電を取り巻く動き、インフラの老朽化、少子高齢化、いじめの問題など、暮らしが直面する課題を詳しく伝えます。

第23回参議院議員通常選挙（任期満了日・13年7月28日）にあたっては、争点や地域への影響などをわかりやすく伝えるとともに、公平・公正で的確な報道を行います。

##### 3. 地域の豊かな自然や風土を多彩に描く番組を放送します

豊かな自然や風土、地域に関心の高い話題を積極的に伝えます。また、地域の人々の思いをていねいに取材したドキュメンタリーやドラマなど、多彩な番組を放送し、地域の魅力を掘り起こします。

プロ野球、Jリーグ、大相撲、高校野球のほか、冬季ソチオリンピック、ソチパラリンピックに出場する地域ゆかりの選手の話をもきめ細かく伝え、視聴者の関心に応えます。

##### 4. 放送と通信の連携によるサービスを充実させます

データ放送やインターネットを通じて、ニュースや気象情報など暮らしに役立つ情報を提供するほか、災害発生時には、命と暮らしを守る情報をさまざまなツールを用いてきめ細かく伝えます。

幅広い世代にNHKに親しんでもらうために、ソーシャルネットワークサービスのさらなる活用を進めるなど、通信と連携した多様なサービスの提供を推進します。

## 近 畿

#### 《基本方針》

12年に公表された「南海トラフ巨大地震」の被害想定は、最悪の場合、関西の死者は9万人規模にも及ぶなど、衝撃的なものでした。また、経済の長期低迷、広がる格差社会、いじめや虐待など子どもを取り巻く社会問題な

どさまざまな課題も抱えています。

関西の6放送局は、こうした課題に正面から向き合い、関西の安全・安心を守るという地域の放送局の使命達成に、ネットワークを生かし一丸となって取り組みます。また、大規模災害に備え、「本部のバックアップ機能」の整備を引き続き推進していきます。

長い歴史で培われた文化や歴史遺産、上方芸能、そして、一般の研究者を輩出する学術風土など、関西特有の魅力をドキュメンタリーやバラエティー、ドラマなどさまざまな手法で取り上げ、関西はもちろん、全国に向けて発信します。また、週末に新設する若者向け情報バラエティーなどで視聴者層の拡大に努めます。

このほか、アジアに目を向けた番組や地域経済番組、スポーツ中継といった多彩な番組やイベントなどでNHKとの接点を増やし、親しみを感じてもらえるよう努めます。さらに、メディア環境の動向を注視しながら、放送と通信を連携させる新たなサービスにも取り組んでいきます。

関西の6放送局は、NHK経営計画の基本方針である「豊かで安心、たしかな未来へ」ののっとり、6放送局それぞれの“放送局のちから”を結集し、地域の視聴者の期待に応えるニュースや番組を届けることで、地域との結びつきをさらに強固なものとし、関西の人たちに信頼され、親しまれる放送局の実現に取り組みます。

## 《重点事項》

### 1. 関西の安全・安心を守る防災・減災報道

早めの避難や耐震化などの対策が求められている「南海トラフ巨大地震」について、発生から19年を迎える阪神・淡路大震災の経験を生かし、防災・減災対策の重要性や実現に向けての課題などを伝えていきます。

NHK経営計画の重点目標の一つでもある「本部のバックアップ機能」の整備に取り組みます。設備・体制を整えるとともに、平日午後5時台の全国放送番組『ゆうどきネットワーク』の金曜や、平日午後2時台の全国放送番組『情報まるごと』を定期的な大阪放送局から発信することで、万一の事態に万全の体制で備えます。

### 2. 関西を元気にする放送の実現

『ゆうどきネットワーク』は、新たに大阪放送局「BKプラザスタジオ」から金曜、生放送とし、関西ならではの多彩な情報を全国に向けて発信します。また、5年目を迎える歴史番組や、放送開始以来反響を呼んでいる福祉番組など大阪放送局制作の全国向け番組でも、視聴者層の拡大を目指し、内容の充実を図ります。

週末に青春情報バラエティーを新設し、若年層だけでなく、その親の世代など幅広い層の視聴を目指します。また、公開生放送で直接NHKに触れてもらえる機会を設けるとともに、ソーシャルネットワークサービスなどインターネットも積極的に活用することで新しい視聴者の開拓を目指します。

ゆかりの深いアジアで活躍する関西人を通して、アジアとの付き合い方、生き抜くヒントを探る番組を新設し、アジアの“今”を伝えていきます。

2年目を迎える金曜午後8時台の地域番組は、“地元愛”をキーワードにバラエティーに富んだラインナップ

で関西の魅力を紹介し、視聴者層をさらに広げます。

7年目を迎える地域経済番組は、“組織”“地域”“人”をテーマに、企業や経営者だけでなく、NPO法人（特定非営利活動法人）など今の日本社会に欠かすことができない組織や特徴あるプロジェクトも取り上げます。

平日午前11時台の情報番組は、金曜の放送時間を拡大し、週末のお出かけ情報に加えて、著名人のインタビューやライブコーナーを新設し、視聴者に身近な“おひるまへの顔”として内容のさらなる充実に努めます。

### 3. 地域の課題に向き合い、視聴者の暮らしを守る正確・迅速な報道

各府県向けのニュース・情報番組では、各地域の課題を関西の6放送局がそれぞれ多角的に検証し、視聴者にわかりやすく伝えます。また、地域密着の報道を継続する一方、関西の視聴者のニーズが高い広域情報については、6放送局のネットワークを生かして、より早く、より身近に関西地域向けに伝えます。

地震・台風などの災害や事件・事故発生時には、正確な情報を迅速に伝えます。「地域の安全・安心のポータルサイト」である各放送局のホームページやデータ放送などを活用しながら、ライフラインに関する情報の提供に積極的に努めます。原子力発電をめぐるさまざまな動きについて、引き続きわかりやすく伝えていきます。特に原子力発電所の安全確保の問題や電力不足など暮らしに直結する課題について、きめ細かく検証していきます。

### 4. 信頼に応える選挙報道

第23回参議院議員通常選挙（任期満了日・13年7月28日）や兵庫県知事選挙（任期満了日・13年7月31日）などについて、有権者の判断のよりどころとなる的確な情報提供に努めます。また開票速報など選挙報道には万全を期し、公共放送として公平で信頼される報道を行います。

### 5. 地域の再生、地域活性化への貢献

能・狂言・歌舞伎といった伝統芸能や漫才・落語、文楽などの上方芸能、また、14年4月に初公演から100周年を迎える宝塚歌劇など関西ならではの歴史・文化遺産の魅力为全国・地域に向けて発信していきます。

3年目を迎える「子どもを守れ!」キャンペーンを通じて、いじめや虐待など子どもたちを取り巻くさまざまな問題に公共放送として正面から向き合い、次代の財産である子どもたちの笑顔を守ります。

「NHK大阪ホール」や「BKプラザスタジオ」を活用した関西らしいエンターテインメントの公開番組などの充実や、放送と連動したアトリウムでのイベントなど、より多くの視聴者と直接触れ合う機会を設け、地域の視聴者が集う“地域の広場”を目指します。

秋から始まる『連続テレビ小説』『ごちそうさん』や、『大河ドラマ』『八重の桜』、14年1月から始まる『軍師官兵衛』など関西が舞台となるドラマを通じ、関西の魅力を全国に発信します。また、それらのドラマを盛り上げる関連番組やイベント、各放送局が制作する「地域ドラマ」を効果的に展開し、地域の活性化に貢献します。

## 6. 視聴者の期待に応えるスポーツソフト

プロ野球、Jリーグなど関西を拠点とするプロスポーツチームの試合や情報を、ファンの期待に応じて全国放送・地域放送で紹介します。また、高校野球、駅伝などのアマチュアスポーツや新たな関心を集めているスポーツなどを柔軟に放送することで地域スポーツの振興に寄与します。

冬季ソチオリンピック、ソチパラリンピックでの活躍が期待される関西ゆかりの選手や関係者を企画や番組で取り上げ、地域の視聴者のオリンピックへの関心を高めます。

視聴者のニーズに応えたマルチ編成やデータ放送による関連情報の充実など、デジタル放送の特性を生かしたスポーツ中継に取り組みます。

## 7. 人にやさしく、新たな放送サービスの実施

大阪府域向けのサービスとして、平日午後8時台の地域向けニュースに加え、平日午後6時台のニュース・情報番組でも字幕放送を開始し、視聴者サービス向上に努めます。また大阪放送局制作の全国向け歴史番組では解説放送を開始します。データ放送やインターネットの双方向機能などを活用し「放送と通信の連携」時代を意識した番組の開発に取り組みます。

中 国

### 《基本方針》

中国地方の各放送局は、ふるさとの暮らしに密着したニュース、地域文化の発展に寄与する質の高い番組、地域の安全・安心を守る情報を発信し、中国地方の視聴者に“身近で、信頼される”放送サービスを届けます。

東日本大震災以降、島根原子力発電所の再稼働や上関原子力発電所の建設計画は地域住民の関心を集めています。TPP（環太平洋パートナーシップ協定）は、中山間地域の農業や瀬戸内海・日本海沿岸の漁業、産業など多方面で参加の是非が議論されています。

中国地方の5放送局は、行政・財政・経済・雇用・医療・福祉・教育・観光・環境など、私たちの生活に直結する課題に正面から向き合います。

13年度は、“人と海との新たな関係”を発信する新しいシリーズ企画を立ち上げ、中国・四国地方で連携して取り組みます。貴重な地域資源である海の魅力を再発見するとともに、産業・観光・環境などの視点から、地域の再生や活性化につながるアイデアを探ります。

また、中国地方は中山間地域に多くの土砂災害危険箇所を抱え、瀬戸内海沿岸は、洪水や高潮など水害リスクの高い地域に人口や産業が集中しています。東南海・南海地震などの想定される大規模災害への対策を見直し、災害に強いまちづくりを推し進めていくことが求められています。

こうした状況を踏まえ、ニュースや番組で防災・減災につながる情報の発信に努めるとともに、防災情報を提供するインターネットコンテンツを開発・強化します。災害発生時には、中国地方5放送局のネットワークを生かし、正確・迅速な緊急報道に全力で取り組みます。

中国地方の各放送局はこうした取り組みを通じて、これまで以上に地域に寄り添い、“豊かで安心”して暮らせる社会、誰もが幸せを享受できる“たしかな未来”の実現に貢献していきます。

### 《重点事項》

#### 1. 地域の暮らしを取り巻くさまざまな課題に向き合います

長引く景気の低迷、顕著に進む少子高齢化など、中国地方を取り巻く環境は厳しさを増しています。中山間地の農業や瀬戸内・日本海沿岸の漁業をはじめ、さまざまな分野への影響が予測されるTPP（環太平洋パートナーシップ協定）の動向にも注目が集まっています。また、島根原子力発電所、上関原子力発電所計画や、岩国米軍基地、竹島などエネルギー・外交政策も関心が高いテーマとなっています。中国地方の5放送局は、こうした地域が抱える課題に正面から向き合います。さらに選挙については、地域への影響などをわかりやすく伝えるとともに、公平・公正で的確な報道に努めます。

#### 2. 安全・安心に役立つ確かな情報を発信します

12年8月に国が公表した南海トラフ巨大地震の新しい被害想定では、人口が集中する瀬戸内沿岸での被害が想定されています。大規模災害に対する自治体などの防災対策をていねいに検証し、防災・減災に役立つ情報を積極的に発信します。また、安全・安心を守るインターネットコンテンツを強化していきます。

#### 3. ふるさとの魅力を再発見し、地域活性化への道を探ります

中国地方にとって、貴重な地域資源である海をどう活用していくかを探り、その最先端の活用法を発信していくシリーズを展開します。金曜夜間ではそのほかにも、各地の暮らしや、美しい自然などを訪ねる紀行番組やタイムリーな話題・情報を伝え地域の今を切り取っていく番組を放送していきます。

#### 4. デジタル時代に対応する多様なサービスを展開します

急速に普及が進むスマートフォンやタブレット端末などへの情報発信に取り組みます。また、中国地方の各放送局がこれまで進めてきたデジタルメディアと番組との連動を継続し、さらに充実させて視聴者との結びつきの強化に努めます。

#### 5. 地域のスポーツを盛り上げます

プロ野球やサッカーJリーグなど、地域に根ざしたスポーツを中継や番組で取り上げ、スポーツファンの期待に応えます。また、冬季ソチオリンピック、ソチパラリンピックに挑戦する中国地方ゆかりの選手を応援します。

## 四 国

## 〈基本方針〉

南海トラフで東日本大震災と同じ規模の地震が起きた場合、四国を震度7の揺れや30メートルを超える津波が襲うおそれがあり、その備えは極めて重要です。一人でも多くの命を救い、災害時にも必要な情報を伝えられるよう、四国の各放送局は、緊急報道の体制をいっそう強化します。地震に強い街づくりや防災・減災対策、原子力発電所の安全対策などの課題をしっかりと検証しながら、人々の生命と安全を守る放送にまい進します。

四国は全国より早く高齢化や人口減少が進んでいるのも大きな課題で、地域活性化の視点は欠かせません。NHKはその一助となるよう、四国の知られざる魅力を掘り起こして伝える、“四国の底力”キャンペーンを展開してきました。3年目の今年、従来の価値観にとられない“幸せ”や“四国の個性”探しにつながる放送に力点を置きます。

四国に生きる“人”を描くドキュメンタリー番組を新設するほか、四国発の地域ドラマを制作するなど、四国4放送局が協力して“ふるさとで暮らすことの幸せ”を実感し、元気になるような番組を放送します。

瀬戸内海や太平洋など四国を囲む海は、独特な個性を持っています。瀬戸内海が全国で初めて国立公園に指定されて14年3月で80年を迎えることから、四国と中国地方の各放送局が連携して、海の豊かさをクローズアップし、人と海との新たな関係を考える大型企画を展開します。また、四国ならではの長い歴史を積み重ねてきたのが、遍路です。1200年もの長きにわたって心の拠り所として人々を受け入れてきた遍路文化にスポットをあて、個性豊かな四国の素晴らしさを伝えます。

さらに、TPP（環太平洋パートナーシップ協定）に揺れる農林水産業をはじめとする四国の産業・経済、第23回参議院議員通常選挙、スポーツ界など関心の高いテーマを多角的に取材します。

四国のNHKは、放送開始から60年を迎えるテレビ放送などを通して、“豊かで安心できる幸せな未来”と守っていくべき“個性”を視聴者の皆さんと一緒に考えるきっかけを作り、四国の活性化に貢献します。

## 〈重点事項〉

## 1. 四国の“安全・安心”を守ります

災害発生時に四国の人々の生命・財産を守るため、正確な情報を迅速に伝えます。南海トラフの巨大地震の発生に備えて放送設備の点検・整備に継続して取り組むほか、日常の放送でもインターネット回線や携帯電話を使用した中継や取材を進め、いざという時のための報道機能を強化していきます。また、テレビ・ラジオやホームページで、防災・減災に向けた対策を伝える番組やコンテンツの制作に力を入れます。データ放送では、河川水位やダム情報の提供を行うほか、国や自治体との連携を図りながら防災に役立つ情報を提供します。

## 2. 四国の暮らしの課題を考えます

深刻な人口減少と急激な高齢化がもたらす諸問題をはじめ、TPP（環太平洋パートナーシップ協定）に揺れる四国の農業、原子力発電とエネルギー需給の問題など暮らしに密接に関わる課題とその解決策を、ニュースや情報番組で詳しく取り上げていきます。

## 3. 正確な選挙放送に万全を期します

第23回参議院議員通常選挙（任期満了日・13年7月28日）では、正確にかつ公平・中立の立場で情報提供に努め、有権者の関心に応えます。

## 4. “四国の底力”を再発見し元気を届けます

“四国の底力”を発掘するキャンペーンの3年目は、四国の元気や“地域の底力”だけでなく、ひとりひとりの日々の暮らしの中にある“小さな底力”にも光を当てます。懸命に生きる人の姿を描くドキュメンタリー番組を金曜夜間に新設するほか、四国4県の人たちが、ふるさとの誇りを懸け、クイズを通して楽しく競い合いながら、その魅力を再発見する番組などを充実させます。

## 5. 地域発のドラマなど四国を活性化する話題を全国発信します

多様で変化に富む自然、人の温かさは四国の貴重な財産です。ニュースや番組を通して四国の個性や魅力を積極的に全国発信し、地域活性化に貢献していきます。13年3月に始まる「瀬戸内国際芸術祭」や瀬戸内海国立公園指定80周年となる14年に開かれる「瀬戸内しま博覧会」を期に、四国と中国地方の各局が協力し、瀬戸内海や太平洋などの“海”が持つ可能性について多彩なテーマで特集番組を展開します。また、四国で1200年もの長きにわたって続いてきた遍路文化にスポットを当て、遍路の魅力をあらためて紹介していきます。さらに、13年度は徳島県を舞台にしたドラマを制作します。ドラマと連動した番組やイベントによって、地域を盛り上げます。

## 6. データ放送、インターネットとの効果的な連携を促進します

連動データ放送や双方向機能、メール・ソーシャルネットワークサービスなどを活用した番組開発を継続し、接触者の増加を目指すとともに番組と視聴者の距離を縮めるサービスを追求します。選挙情報やスポーツ情報など視聴者の関心が高いコンテンツも効果的に展開し、テレビ・ラジオでの放送を補完します。また、四国でも急速に普及が進むスマートフォンに対応したページの開発を進め、視聴者サービスの向上に努めます。

## 7. 四国のアスリートを応援します

サッカーJリーグや高校野球、四国アイランドリーグなど四国で行われるスポーツの中継に継続的に取り組むほか、地元で躍動する選手の姿やチームの近況についてもニュース・情報番組で詳しく紹介していきます。また、世界で活躍する四国出身選手を応援し、その活躍と最新情報を随時伝えます。

## 九州・沖縄

## 《基本方針》

テレビ放送は60年という節目を迎えました。放送を取り巻く環境が日々変化していく中、公共放送として果たすべき役割はますます高まっています。九州沖縄地方の各放送局は、人々の命と暮らしを守り、地域の再生・活性化に貢献します。

12年7月の九州北部豪雨は、自然災害の脅威を改めて認識させるものでした。台風や豪雨、大地震や大津波への備えに加えて、桜島、霧島連山・新燃岳の噴火活動への警戒も必要です。災害発生時には、安全・安心を守る正確で迅速な報道を行うとともに、日常的に防災や減災につながる情報の提供に努めます。

原子力発電・エネルギー、米軍基地、諫早湾干拓の開門調査など、九州沖縄地方が抱える課題と向き合います。また、第23回参議院議員通常選挙の報道に万全を期すとともに、政治の動向が地域の課題や日々の暮らしにどのような影響を及ぼすのかについてわかりやすく伝えます。

地域に密着した身近で関心の高い話題を取り上げるとともに、全国にも地域の情報を発信することで、九州沖縄地方の活性化に貢献します。

放送と通信を連携させた多様なサービスに取り組み、より幅広い視聴者に向けて展開します。メディアの特性を生かし、コンテンツごとにふさわしいサービスを提供します。

## 《重点事項》

## 1. 安全と安心を守る正確で迅速な緊急報道

九州沖縄地方の9つの放送局は、一体となって、ネットワークと機動力を生かし、台風や豪雨、噴火などの自然災害や事件・事故発生時には、地域住民の安全と安心を守るために、正確で迅速な緊急報道を行います。災害発生時には、データ放送やインターネットも活用して、情報をきめ細かく伝えます。また、想定される首都直下地震や東海・東南海・南海地震などの大規模災害に備え、放送局間の支援機能強化に努めます。

## 2. “地域の安全・安心ラジオ”に向けた機能強化

九州沖縄地方向けのラジオ番組を新設して、普段からラジオを聴いてもらう機会を増やし、“地域の安全・安心ラジオ”の機能を強化します。ニュース・気象情報や、防災・減災関連の情報はじめ、音楽やスポーツ、地域のイベント情報などを伝えます。

## 3. 地域に密着した放送・サービスの充実

平日午後6時台のニュース番組では、各県内向けの情報に加え、九州沖縄地方向けのニュースや話題をよりきめ細かく伝えます。さらに、暮らしに役立つ情報やアジア情報もいっそうの充実に努めます。

金曜午後7時台の番組では、九州沖縄地方が共通して抱える地域の課題をタイムリーに取り上げ、真正面から向き合って考える報道番組を放送します。金曜午後8時

台の番組では、九州沖縄地方のさまざまな話題を親しみやすく紹介し、“見ればお得で元気になる”番組を放送します。

## 4. 地域の特徴を生かした多彩な番組の全国発信

NHKが持つネットワーク力を生かして、地域のさまざまなニュース・情報を全国に伝えます。地域の課題と向き合う番組、豊かな自然や人々の温もりを生き生きと描く地域発ドラマ、ふるさとの魅力を再発見する特集番組など、多彩な番組を全国発信し、地域の活性化に貢献します。また、福岡・大分など北部九州も舞台となる『大河ドラマ』「軍師官兵衛」（14年1月放送開始）では、さまざまな取り組みを通して地域を盛り上げます。

## 5. アジアに関する情報の発信

地理的、歴史的にアジアと深い関わりを持ってきた地域の放送局ならではの視点で、“アジアの中の九州沖縄”を考える情報番組を新設し、地域や全国に向けて発信していきます。また、中国や韓国をはじめとしたアジア諸国との経済や産業、文化交流などの動きを、各国の放送機関との連携も生かして伝えていきます。

## 6. 選挙への万全対応

第23回参議院議員通常選挙（任期満了日・13年7月28日）や、長崎県知事選挙（任期満了日・14年3月1日）などの選挙については、有権者の判断のよりどころとなる情報を提供し、正確・迅速な選挙報道に万全を期します。

## 7. “戦争と平和”への取り組み

九州沖縄地方は、被爆地・長崎や、地上戦の舞台となった沖縄をはじめ、各地に戦争の爪痕が多数残っています。戦争体験の風化が危惧される中、証言や記録資料などを通して戦争の悲惨さを後世に伝え、平和へのメッセージを発信していきます。

## 8. 地域の文化やスポーツの振興

九州沖縄地方には、長い歴史と伝統の中で育まれてきた個性豊かな文化があります。それらを継承している人々や、新しい文化・芸能を創造している人々を積極的に取り上げ、地域文化の振興・発展に寄与します。

スポーツが盛んな九州沖縄地方において、視聴者の関心が高いプロスポーツやアマチュアスポーツを中継するとともに、関連情報を番組やニュースで伝え、地域のスポーツ振興に寄与します。冬季ソチオリンピック、ソチパラリンピックや、北部九州4県で開催される全国高等学校総合体育大会では、競技中継とともに注目選手の紹介など、地域や全国に向けて発信します。

## 9. 放送と通信を連携させたサービスの強化

スマートフォンやタブレット端末、ソーシャルネットワークサービスの普及を踏まえた幅広い視聴者向けのサービスを展開します。また、マルチ編成やデータ放送など、デジタル放送ならではのサービスもいっそう充実させます。それぞれの特性を生かして、番組ごとに最適なサービスを提供し、視聴者の期待に応えます。